

公益社団法人 日本地震工学会 第9回理事会議事録

A. 日 時：2014年5月12日（月）17時00分から19時30分

B. 場 所：建築会館308会議室（東京都港区芝5-26-20）

C. 出席者：（会 長） 安田 進

（副 会 長） 当麻純一、山崎文雄、福和伸夫

（担当理事） 福喜多輝、新海 元、矢代晴実、和泉信之、加藤研一、松田 隆、
年縄 巧、横井俊明、久田嘉章、古屋 治、鳥井信吾、境 茂樹、
田村敬一、塚本良道

（監 事） 五十嵐克哉

（欠 席） 富田孝史、清野純史

オブザーバー出席：嶋原 毅事務局長、吹野美絵

D. 提出資料

資料 09-01 第8回理事会議事録（案）（新海理事）

資料 09-02 会務報告（福喜多理事）

資料 09-03 監事による監査（福喜多理事）

資料 09-04 入退会者（加藤理事）

資料 09-05 平成25年度事業報告（修正版）（福喜多理事）

資料 09-06 平成25年度決算（修正版）（矢代理事）

資料 09-07 総会議事進行の確認（福喜多理事）

資料 09-08 事業企画委員会からの報告（鳥井理事、境理事）

資料 09-09 東日本大震災合同報告 共通編1,2,3 刊行記念シンポジウム開催（境理事）

資料 09-10 論文集編集委員会からの報告（年縄理事）

資料 09-11 首都圏における地震・水害等による複合災害への対応に関する委員会（案）

（安田会長、久田理事）

資料 09-12 国際委員会からの報告（横井理事）

資料 09-13 学会の将来についての議論（全理事）

E. 議題

E 1. 報告事項

1) 第 8 回理事会議事録（案）（新海理事、資料 09-01）

「第 8 回理事会議事録（案）」について承認された。

2) 会務報告（福喜多理事、資料 09-02）

「会務報告（4 月 18 日～5 月 12 日）」の報告がなされた。

3) 監事による監査（福喜多理事、資料 09-03）

平成 25 年 5 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日までにおける事業報告及び決算報告について、監査の結果、適正に処理実施されたことが報告された。

E 2. 議 案

第 1 号 入退会者（加藤理事、資料 09-04）

「入退会者」の報告がされ、2014 年 5 月 12 日現在、入会者は正会員 4 名、法人会員 5 社、退会者は正会員 3 名、学生会員 6 名が承認された。

以上の結果、個人会員数は、名誉会員 28 名、正会員 1,119 名、学生会員 149 名で、総数は個人会 1,234 名、法人会員 93 社となることが確認された。

第 2 号 平成 25 年度事業報告（修正版）（福喜多理事、資料 09-05）

これまでの指摘事項を反映させた「平成 25 年度事業報告（修正版）」について報告され、内容について承認された。

第 3 号 平成 25 年度決算（修正版）（矢代理事、資料 09-06）

総会に提示する「平成 25 年度決算（修正版）」について報告され、内容について承認された。

E 3. 懇談事項

4) 総会議事進行の確認（福喜多理事、資料 09-07）

2014 年 5 月 22 日（木）14：00～19：00、建築会館ホールにて実施される「日本地震工学会第 2 回社員総会」の運営進行について説明がなされ、総会の進行、担当理事等について最終確認がされた。

5) 事業企画委員会からの報告（鳥井理事、境理事、資料 09-08）

事業企画委員会より、「日本地震工学会からメディア交流会のご案内」について説明がされ、参加費は実費（資料代）のみ徴収する等、2014 年度の具体的な進め方について確認がされた。

6) 東日本大震災合同報告 共通編 1, 2, 3 刊行記念シンポジウム開催（境理事、資料 09-09）

「東日本大震災合同報告 共通編 3 編」刊行記念シンポジウム「地震災害再考. ファンダメンタ

ルをふまえて」を2014年6月13日10:00～16:30に専売会館ホールで開催する旨の説明がされ、正会員、マスコミに更なる周知を行うことが確認された。

7) 論文集編集委員会からの報告（年縄理事、資料 09-10）

論文集編集委員会から前回理事会以降の進捗報告として、第14巻第3号への登載決定が3編、査読中が1編あるとの報告がされた。

8) 首都圏における地震・水害等による複合災害への対応に関する委員会（案）

（安田会長、久田理事、資料 09-11）

首都圏における地震・水害等による複合災害への対応に関する委員会（案）について、目的、委員会構成、活動期間、検討内容、メンバー構成について報告がされ、活動の方向性について確認がなされた。

ただし、常設の研究委員会における活動と本委員会の位置付けを明確に区分けするために、会長特別委員会の設置目的（社会的に要請が高いもの、他機関に亘るもの、学会提言等）等を明記した規約を策定しておくことが確認された。

9) 国際委員会からの報告（横井理事、資料 09-12）

国際委員会から今後対応するものとして以下の報告がなされた。

- ・英語版HPに、Inconvenience Reportとして常時事務局に意見を送れる仕組みをつくる。
- ・英語版HPに、定款と役員選挙手続き・個人情報の取り扱いの説明・表彰関係（自薦・他薦手続き）等の英訳を載せる。
- ・役員選挙関係の情報の英語版を外国人会員にメールベースで配信する。

また、2015年3月14日に仙台で行われる世界防災会議において、JAE Eの英語版チラシを配布する等の宣伝活動を行うことが確認された。

10) 学会の将来についての議論（全理事、資料 09-13）

JAE E活動について（案）を用いて全理事にて協議を行い、具体的な内容は次回の理事会以降に個別に議論することが確認された。

なお、受託研究については、これから各省庁の公募内容が公示されるので、JAE Eの活動として適正なものがあるかどうかをチェックしていくことが確認された。

次回予定：日時：平成26年6月26日（木） 17:00より

場所：建築会館308会議室

記録担当：総務理事 新海 元